

9月9日(土) 研究発表2 第6室(2114)

## 分野/Field: Vocabulary

イディオムを支えるメタファー  
 —認知言語学的観点からの学習方法の検討—

## Idiom Supporting Metaphors

## A Discussion of English Learning Methods from a Cognitive Linguistic Perspective

谷村 緑・仲本 康一郎(独立行政法人情報通信研究機構)

## 1. 研究の目的

本発表ではイディオムの学習方法について検討する。イディオムとは、個々の語の意味からは全体の意味が推測できないフレーズを指す。このようなフレーズは自然な会話や文章に頻繁に出現するため、文章理解や産出には欠かせない。しかし、その学習方法は機械的な練習と暗記に依存する部分が多く、適切な場面使用に結びつけることが難しいため、使用の回避も報告されている(Hulstijn and Marchena 1989; Laufer and Eliasson 1993)。本稿では、イディオムの背景にあるメタファーを説明するために、イメージ図式(Lakoff and Johnson 1980)、フレーム(Fillmore 1982)、スクリプト(Schank 1982)といった概念を援用し、記憶に基づく個別の学習ではなく、より体系化された知識構造に基づくイディオム学習について議論する。

## 2. イディオムの学習に関する研究

Kövecses and Szabó (1996)、Boers (2000)、Holme (2004)の研究は、メタファーをイディオムの学習に応用した研究として注目される。メタファーとは、特定の詩的な才能を持ったひとだけが用いる修辭的な表現ではなく、私たちが日常的に使用する言語に内在するもので、その根幹には人間の身体的経験や知覚・運動パターンを抽象化したイメージ図式(=直感に訴える表示)の構造があるとされている。例えば、次のような幸せや悲しさといった感情表現は上下という身体的な経験に基づくメタファーをもとに構成されている。

- |   |             |
|---|-------------|
| (1) "I'm feeling up today; That boosted my spirits" | HAPPY IS UP |
| "I'm feeling down; I am depressed"                  | SAD IS DOWN |

大文字の HAPPY IS UP や SAD IS DOWN がメタファーに相当するが、私たちは、これを通して感情をより明確な形で概念化することができると考えられる。

このメタファーの概念を援用し、Kövecses and Szabó (1996) や Boers (2000)は、イディオムのリスト学習とイメージを基にした分類による学習を比較し、後者の方がより成績が高く、記憶に残りやすいことを実証している。

これらの調査では、イディオムが直感的なイメージを基に分類されており、その意味的な共通点分かり易いという意味で意義があり、従来の記述的な分類にない学習上の効果を持つ。しかし、こういったイメージ図式に基づく表示は基本的にスタティックなものであり、実際の言語使用の場面においてこれらのイメージ図式がいかに活性化され、場面や文脈のなかで効果的に利用されるかという点が考慮されていない。

### 3. 議論

本発表ではイメージ図式に加えて、よりダイナミックな知識構造であるフレームやスクリプトの概念を適用し、さらに体系だったイディオムの学習方法について検討する。フレームとは、ある語の意味や概念を理解するために必要な背景的な常識や知識のことで、私たちはあらゆる概念を理解する際にそういった全体的な構造を参照する前提に基づくものである。例えば、「日曜日」という語の理解においては、その背景となる週やその他の曜日、休日や出勤日などのフレームが喚起される。また、そのような全体構造なかで行為や出来事などの時系列に沿った具体性の高い一連の出来事(例えば、レストランのスクリプト)が喚起され、古い経験に照らして新しい予想が形作られるときそれをスクリプトという。

次のような例を考えてみよう。

(2) Ellen: Can you believe it? Your wedding is in two weeks!

Jana: And I think I'm getting cold feet.

Ellen: Why? What are you afraid of? Rick's a great guy.

Jana: I know, but maybe we should wait. We can't even afford to buy furniture!

Ellen: So, it's money that's making you have second thoughts. **Deep down** you really want to get married. I can tell by your face-you really love him. (Fragiadakis, 1993)

この「心の奥底で / 心の中で」という表現は、「心」を入れ物として捉えるイメージ図式、つまり容器のスキーマに基づくメタファー表現として説明される。しかし、“deep down”の概念をダイナミックに理解するためには、こういったイメージ図式に加えて「相談者」「助言者」「心」「考え」といったフレーム要素が必要となる。また、その意味関係の理解のためには、以下のような結婚に関するスクリプト的意味の知識の活性化も必要となるだろう。

(3) 付き合う プロポーズする/される 式を挙げる 家を借りる 家賃を払う . . .

“deep down”というフレーズは、容器のスキーマ、語の背景にある知識、語が喚起する適切なスクリプトによって、その意義を発揮する。つまり、新しいテキストを処理し、理解する際に、私たちは既に記憶されている知識を利用している。この理解のプロセスは、母語だけでなく外国語でも同じであると考えられる。イディオム学習において、イメージ図式に加えて、フレームやスクリプトの概念を適用することは、学習者の既存の知識を活性化に結びつき、新しい語の意味の構造的理解につながる。本発表では、さらに、幾つか具体例を挙げて、知識構造に基づくイディオム学習について検討したい。

#### 主な参考文献

- Fillmore, C. J. (1982). Frame semantics. In Linguistics Society of Korea (Ed.), *Linguistics in the Morning* (pp.111-137). Calm, Seoul: Hanshin.
- Fragiadakis, H. K. (1993). *All CLEAR! Idioms in Context*. Boston, Massachusetts: Heinle & Heinle Publishers, Inc.
- Holme, R. (2004). *Mind, Metaphor and Language Teaching*. New York: Palgrave Macmillan.
- Kövecses, Z., & Szabó, P. (1996). Idioms: A View from Cognitive Semantics. *Applied Linguistics*, 17/3, 326-255.
- Lakoff, G., & Johnson, M. (1980). *Metaphors we live by*. London and Chicago: University of Chicago Press.
- Schank, R. (1982). *Dynamic Memory*. Cambridge: Cambridge University Press.